


四日市市磯津の生き物等の地域言葉(動物)

磯津ことばを記録する会

1 両生類・はちゆう類(カエル類、ヘビ・トカゲ類)

分類	動物等の名称	区分	磯津ことば	備考
両生類	かえる類	総称	ガエル、ガイル	
		幼生	ガイルゴダマ	
		手足のある幼生	—	
	ひきがえる類		フクガエル	
	あまがえる		アマガエル、アオガエル	
	あかがえる類		—	
	とのさまがえる		—	
	つちがえる類		ババガエル	
うしがえる		ショクヨーガエル	(外来種)	
爬虫類	へび類 (総称)		クチナワ	
	あおだいしょう	総称	イナカワマリ、サトマワリ	
		白色	シロヘビ	
	しまへび	総称	シマヘビ	向かってくる
		黒色	カラス、カラスヘビ	
	じむぐり		カラカラヘビ	尾を鳴らす。赤い
	ひばかり		ヒバカリマムシ	
	やまかがし		アズキヘビ	
	まむし		マムシ、ヒバカリマムシ	
	とかげ・かなへび		トカゲ、トカゲ	

※ 関係する諺・表現等

- ・ ババガエルは熱さましのために煎じて飲ました。
- ・ 「ババガエルを煎じて飲むか、メダカを生きたまま飲むと、乳がすだまる (=乳の通りが良くなり、よく出るようになる)」と言った。
- ・ アオダイショウは家の守り神で、仏さんのある部屋の畳の下の空間に座布団が敷かれていて、そこでとぐろを巻いている。
- ・ 「シロヘビは神さまの使い」
- ・ 「ネズミやヘビ (=アオダイショウ) がいなくなると火事が出る」
- ・ ヒバカリマムシは秋になると産卵のために自分の牙を石を噛むことによって折る。その石を素足で踏むと「そこまめができる」と言った。

2 動物(哺乳類)

分類	動物等の名称	区分	磯津ことば	備考
ウサギ類	のうさぎ		オサギ、ウサギ、ノウサギ	
ネズミ類	むささび		—	
	ねずみ類	総称	ネズミ	
	〃	家の小型ねずみ	コゲシロ、コギシロ	
	〃	溝の大型ねずみ	ドブネズミ	
	〃	田畑等のねずみ	ジネズミ	
	〃	ねずみの幼体	ドンビンゴ	稲穂の巣の中
モグラ類	もぐら類		オグロ、モグラ	
コウモリ類	こうもり類		コーモリ	
サル	さる		エテコ	
ネコ目	たぬき		タヌキ	
	きつね		ケツネ、キツネ	
	かわうそ		カワウソ	昔はいた
	あなぐま		—	
	いたち	総称	イタチ	
	〃	水辺	ミズイタチ、カワイタチ	
	ねこ		ミケ、クロ、トラ、シロ、ドラ、ヌスット	
ウシ目	うし	総称	ウシ	
	〃	雄	コッテ、コッテウシ	
	馬	総称	ウマ	
	〃	足首部分が白い馬	ウマノシロタビ	

※ 関係する諺 「キツネ七化け、タヌキ八化け」

3 鳥類

分類	鳥類の名称	磯津ことば	備考
アビ目	あび	ドーゼン	
スズメ目	スズメ科	すずめ	スズメ
	ツバメ科	つばめ	トバ、ツバメ
	セキレイ科	せぐろせきれい類	チッチン
	モズ科	もず	モズ
	ヒヨドリ科	ひよどり	ヒヨ、ヒヨドリ
	ムクドリ科	むくどり	ムクドリ
	ホオジロ科	ほおじろ	ホジロ
	ヒタキ科	じょうびたき	モンツキ
カモ目	カモ科	まがも	カモ、アオクビ
カイツブリ目	かいつぶり	カイツムリ	
ハト目	ハト科	かわらばと	ドバ(ト)、ゲンヨウバト



ハト科	きじばと	ヤマバト、ドバ(ト)	
コウノトリ目	ごいさぎ	ゴイ	
	白いさぎ類	サギ、シラサギ	
フクロウ目	ふくろう	ゴロスケ	
タカ目 タカ科	とび	トビ、トンビ	
アトリ科	かわらひわ	カワラヒバ	
鳥の雛	—	ドンビン	

- 不明種 「チッパ」(海上で魚を取る鳥で頭は黒い。燕の2倍くらい鳥でチッチと鳴く)
「ミズナリドリ」(小型、真っ黒、こおなごを食べる)
- 表現：セキレイ類：「浜のチッチン、よう鳴くチッチン、尾んぼふりふり」と言った。
- その他の鳥の名： うぐいす：ウグイス、ひばり：ヒバリ、めじろ：メジロ、からす：カラス、
かわがらす：カワガラス、きじ：キジ、しぎ類：シギ、かわせみ：カワセミ